

平成27年度 第2回 YCVB インバウンドワーキング 次第

日時：2015年6月22日（月）

15時00分～17時00分

場所：八洲（ヤシマ）学園大学 7階貸し会議室

【第1部】

1. 事務局挨拶および新規参加メンバー自己紹介
2. 「横浜の強みを探る」施策について
 - ①「横浜の強みを探る」ための4つのテーマを深掘り（モデルコース策定に向けて）
【本日のグループ別プレスト】
 - ②在住外国人留学生を交えたモニターツアー・意見交換会 【今後の実施】
3. VISIT JAPAN トラベルマート 2015 横浜共同ブース出展について ほか
4. 横浜市、神奈川県からのお知らせ

【第2部】

1. インバウンドセミナー
講師：George Lim 氏
プロフィール：シンガポール人。雑誌 go Japan 編集長。
Visit japan 大使として、5年連続の訪日（横浜は2年連続）。
今回は5/5～6/28までの間、23都道府県に滞在し、各地で
セミナー開催・取材等、精力的に活動
テーマ：ジャパン・ツーリズム
2. 質疑応答

=====

【配布資料】

- 資料① 今年度のインバウンドワーキングの活動について
- 資料② 平成26年度実施「外国人来訪者動態調査」分析について
- 資料③ モデルコース参照資料
- 資料④ VISIT JAPAN トラベルマート 2015 への共同出展意向確認のお知らせ
- 資料⑤ 横浜観光コンベンション・ビューローとトリップアドバイザーのコラボ
- 資料⑥ 横浜市内の外国人延べ宿泊者数：地域別推移
- 資料⑦ 平成27年度企業タイアッププロモーション事業について
- 資料⑧ インバウンドセミナー資料
- 資料⑨ インバウンドワーキング参加者名簿

平成 27 年度 第 2 回 YCVB インバウンドワーキング 議事メモ

- 日時：2015 年 6 月 22 日（月）
- 15 時 00 分～17 時 00 分
- 場所：八洲（ヤシマ）学園大学 7 階貸し会議室
- 議事内容：以下の通り

【第 1 部】

1 事務局挨拶および新規参加メンバー自己紹介

2 横浜の強みを探る」施策について

(1) 「横浜の強みを探る」ための 4 つのテーマを深掘り（モデルコース策定に向けて）

【本日のグループ別ブレスト】

A テーマ 和：横浜で体験する日本の伝統

- ・和 例えば着物とか本当に望まれているのか？過去に縛られても仕方がない。
- ・伝統で良いのか？あまり無理矢理にやる必要はないのでは？横浜は未来志向でいくべき。
- ・横浜の場合は、江戸時代ではない。近代なのでは？明治以降の歴史にフォーカスすべき。
- ・伝統というと、競馬・港・貝塚・牛鍋・アイス…西洋文化が多い。C テーマとかぶる。
- ・せっかく横浜に来て、何を見たいのか？和と洋の融合が良いのか？
- ・和では、鎌倉、京都には負ける。
- ・和の体験 横浜でもできることはいっぱいあると思う
- ・「日本のものづくり」…日本の伝統の良さ。それはいわゆる「和」=エキゾチック、芸者といったものではない。
- ・横浜は、東京のホテルが空いていないから仕方なく…という流れ。ホテルに着目してはどうか？仕方なくではなく、エンタメ要素やホテルとしての歴史をうたって、横浜に泊まりたいから来てもらう流れ。
- ・新幹線は海外でも受けているので、新横浜を横浜のゲートとする。
- ・グループ旅行への旅行会社の存在もあり新たな提案は難しいが、個人旅行にはいろいろな提案要素がある。
- ・「日本初」は海外には響かない、関係ない。「世界初」を創り上げていく。ギネスに挑戦等。
- ・魚市場は売り出せないのか？
- ・野毛…安心、安さ、雰囲気
- ・三溪園、ラー博、カップヌードル
- ・海外から見た「日本らしさ」は別物である。100 円ショップ等。
- ・インドネシア、韓国等、文化に興味を持つほど市場は成熟していない。
- ・たとえば花火のようなイベント（祭り）をこれから日本らしさとして創り上げていくのはありかも。
- ・「シルク」のように、日本の中の良いものに触れられるのが横浜である、としたい。
- ・貿易港であり、まさに東京の隣の浜=横浜。アルファベットでも Yokohama で、Y は後ろの方。目立たせないといけない。

B テーマ 食：横浜ならではのグルメ、横浜発祥のグルメ

主なテーマは6点

①ホテルメシ：横浜発祥の食シリーズ

シーフードドリア/ナポリタン/アイスクリン/ビール（キリン 山手）
山手⇒ホテルニューグランド⇒馬車道（アイスクリン）⇒生麦
〈ポイント〉

外のものを現地化（日本化）し、進化し、洗練させていった
その他：ミクニ、トウランドット、勝烈庵

②ランドスケープ×食：見晴らしがいいところで夜景と食含めてパチリ

（具体的な場所は議論深くできていないが、皆のイメージは）

横浜駅～みなとみらい～山下までぐらいの臨海部

〈ポイント〉

この風景見ながら、これを食べれば国の人に自慢できる
パチリ（写真 or 動画）

③横浜ラーメン・ラーメン・ラーメン

サンマーメン⇒カップヌードルミュージアム⇒ラーメン博物館&家系ラーメン

〈ポイント〉（池田さんも話していたの近いが）

- ・カップヌードルの日本のクリーンさ、こまやかさ
- ・ラーメン博物館の昭和を感じさせる猥雑さ&多彩
- ・さっぱりな「サンマーメン」と、油濃い目もできる背油入り「家系ラーメン」

④訪日中国人がリピーターになる「横浜中華街」

・中華街ラウンド

〈ポイント〉

中国人が感じる「洗練さ」「きめの細かさ」「安全安心」「清潔さ」「おいしさ」
「本国と同じ」でなく、「本国よりもおいしい中華料理」

⑤野毛×ナイトライフ

野毛ラウンド

〈ポイント〉

ノマド的、猥雑さが受ける、居酒屋、ホッピー、三陽&ジャズ or 流し

⑥音楽×食

ジャズの聴ける集約地 関内、野毛、桜木町

〈ポイント〉

音楽聴きながら、食べてパチリ

その他、団体旅行で到着すると8時過ぎになっていて、どこで遊べばいいかわからないだろう、だから、ナイトライフの着地型ツアーとか あると面白いのではないかとのこと。

C テーマ 近代文化：横浜で感じる近代日本の黎明

- ・開港 156 年と若い横浜で和を巡るのも難しいが、外国人に刺さる近代日本を探すのも難しい。
- ・横浜に発祥ものはいろいろあるが、アイスクリームや写真、ビール、鉄道など、「日本初」であって「世界初」・ではないものがほとんど。「世界初」でない外国人にはインパクトを与えられないのではないかな。
- ・同じ港町で大都市の隣に位置する神戸をモデルに横浜と比較しても良いのではないかな。

ア 発想を変えて外国人に見せたい横浜／問い合わせがある横浜の施設】

(ア) 観光施設

- ・横浜ランドマークタワー
- ・赤レンガ倉庫
- ・横浜マリンタワー
- ・カップヌードルミュージアム

(イ) 乗り物系

- ・日産グローバル本社ギャラリー
- ・帆船日本丸
- ・シーバス（港町観光の象徴）
- ・ベイバイク
- ・屋形船

(ウ) 横浜中華街

- ・横浜といえば中華街、中華街の写真＝横浜。外国人にとってもそれは同じではないかな
- ・山下エリアの施設からは中華街は外せないスポット
- ・外国人にも中華街見たいとよく言われる
- ・外国人居留地として発展した横浜を象徴する街
→ほぼ全員が中華街を挙げる

イ まとめ

日本人に人気な中華街の認知度は海外においても同様に高いのが事実。中華街を中心に元町・山手など、外国人居留地として発展してきた開港都市であるというストーリー性にスポットを当てて PR していくことが必要ではないかな

D テーマ ナイトライフ：横浜の夜を満喫できるスポット

- ・花火大会など、既存のイベントに絡めて集客したい。
- ・各国のブランドとして認知されている Hard Rock Café の反応はどうか。
ご当地ものとしてグッズを購入する方もいるので、喜ばれるのではないかな。
- ・中華街も近くにあれば喜ばれる（主に夜食として）という話も聞いているので見せるべき。
- ・横浜西口はドン・キホーテを中心に「夜に強い」ことを売りにしており、ヨドバシカメラや高島屋も 10:30 まで営業しているなど、ショッピングも夜まで楽しめ、ライブ系の飲食店も集積していることから、夜をテーマとするならば西口が勧められる。主要ホテルまでおよそ 1,000 円でアクセスできる立地もポイント。
- ・インセンティブ誘致で「野毛を貸し切る」という提案が以前あり、野毛もナイトライ

フには欠かせない。

周辺の吉田町（イベント開催など集客に積極的）や伊勢佐木町とあわせて、連れて行きたい。

- ・屋形船は言語対応が難しいが、夜景と食事と日本文化が同時に楽しめるため、予算に余裕があれば連れて行きたい。さらに着物着用ができれば◎。

(2) 在住外国人留学生を交えたモニターツアー・意見交換会【今後の実施】

上記のブレストでの意見を受けて、今後実施するモニターツアー・意見交換会に反映させる旨を確認。

3 VISIT JAPAN トラベルマート 2015 横浜共同ブース出展について ほか

出展希望の会社を今後募る旨、ビューローより説明。

4 横浜市、神奈川県からのお知らせ

【第2部】

1 インバウンドセミナー

講師：George Lim 氏

プロフィール：シンガポール人。雑誌 go Japan 編集長。

Visit japan 大使として、5年連続の訪日（横浜は2年連続）。

今回は5/5～6/28までの間、23都道府県に滞在し、各地で

セミナー開催・取材等、精力的に活動

テーマ：ジャパン・ツーリズム

2 質疑応答

=====

【配布資料】

- 資料① 今年度のインバウンドワーキングの活動について
- 資料② 平成26年度実施「外国人来訪者動態調査」分析について
- 資料③ モデルコース参照資料
- 資料④ VISIT JAPAN トラベルマート 2015 への共同出展意向確認のお知らせ
- 資料⑤ 横浜観光コンベンション・ビューローとトリップアドバイザーのコラボ
- 資料⑥ 横浜市内の外国人延べ宿泊者数：地域別推移
- 資料⑦ 平成27年度企業タイアッププロモーション事業について
- 資料⑧ インバウンドセミナー資料
- 資料⑨ インバウンドワーキング参加者名簿